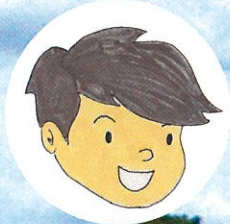


# 六 きょうどを開く

武庫川は、広い公園もあるし  
鳥もいっぱいやってくるよ。



むかしは、武庫川の水があふれて  
たいへんだったそうだよ。



武庫川の水をどの  
ように利用したの  
かしら。



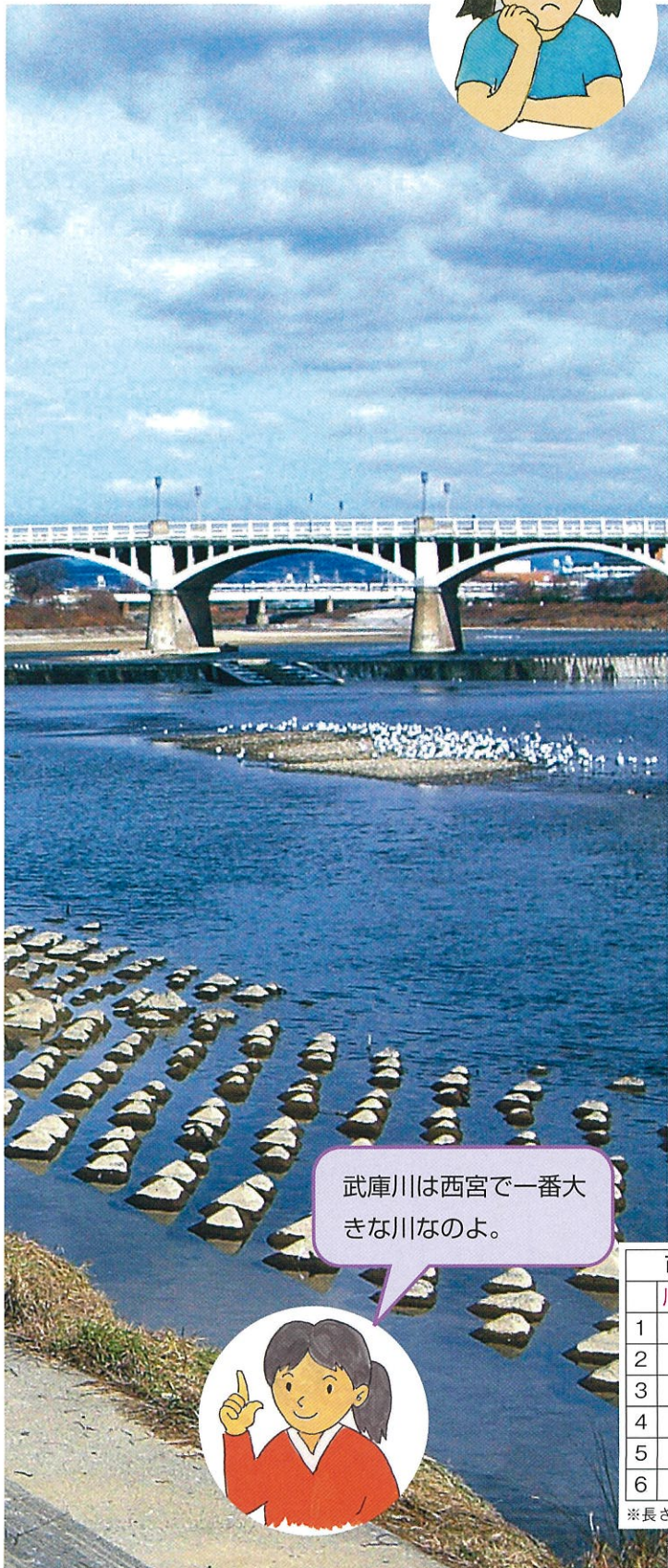
野球やサッカーを  
やったよ。



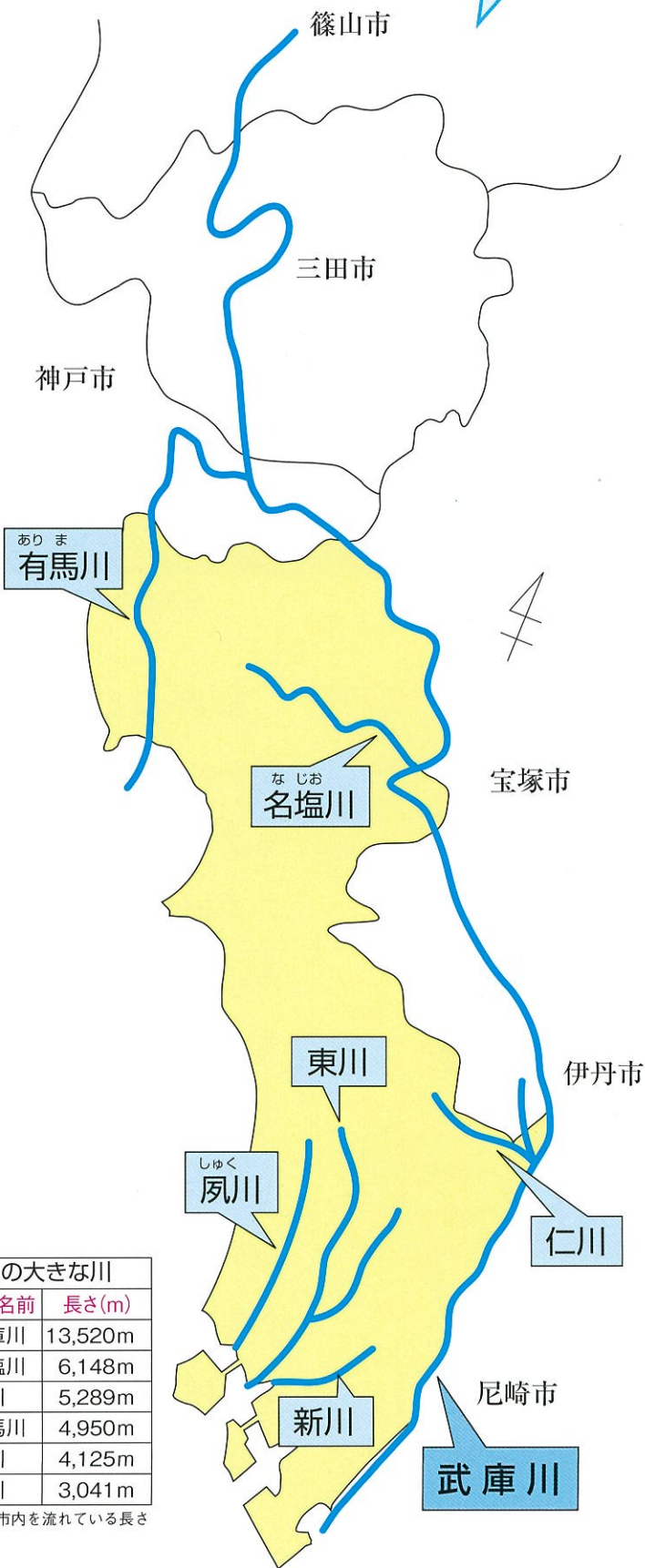
今は広い川原と高いいぼうがあるけど、むかしはどうだったのかな？



武庫川の源流は、<sup>げんりゅう</sup>篠山市までさかのぼることができます。<sup>ささやまし</sup>巻末の地図で調べてみましょう。



武庫川は西宮で一番大きな川なのよ。



市内の大きな川		
	川の名前	長さ(m)
1	武庫川	13,520m
2	名塩川	6,148m
3	東川	5,289m
4	有馬川	4,950m
5	夙川	4,125m
6	仁川	3,041m

※長さは、市内を流れている長さ

# 1. 新田をひらく

どのようにして新しい水田はつくられていったんだろう。



① 現在の西宮市内にある水田と用水路

今の西宮では、田畑は少なくなったけど、昔はたくさんの田畑が広がっていたのよ。

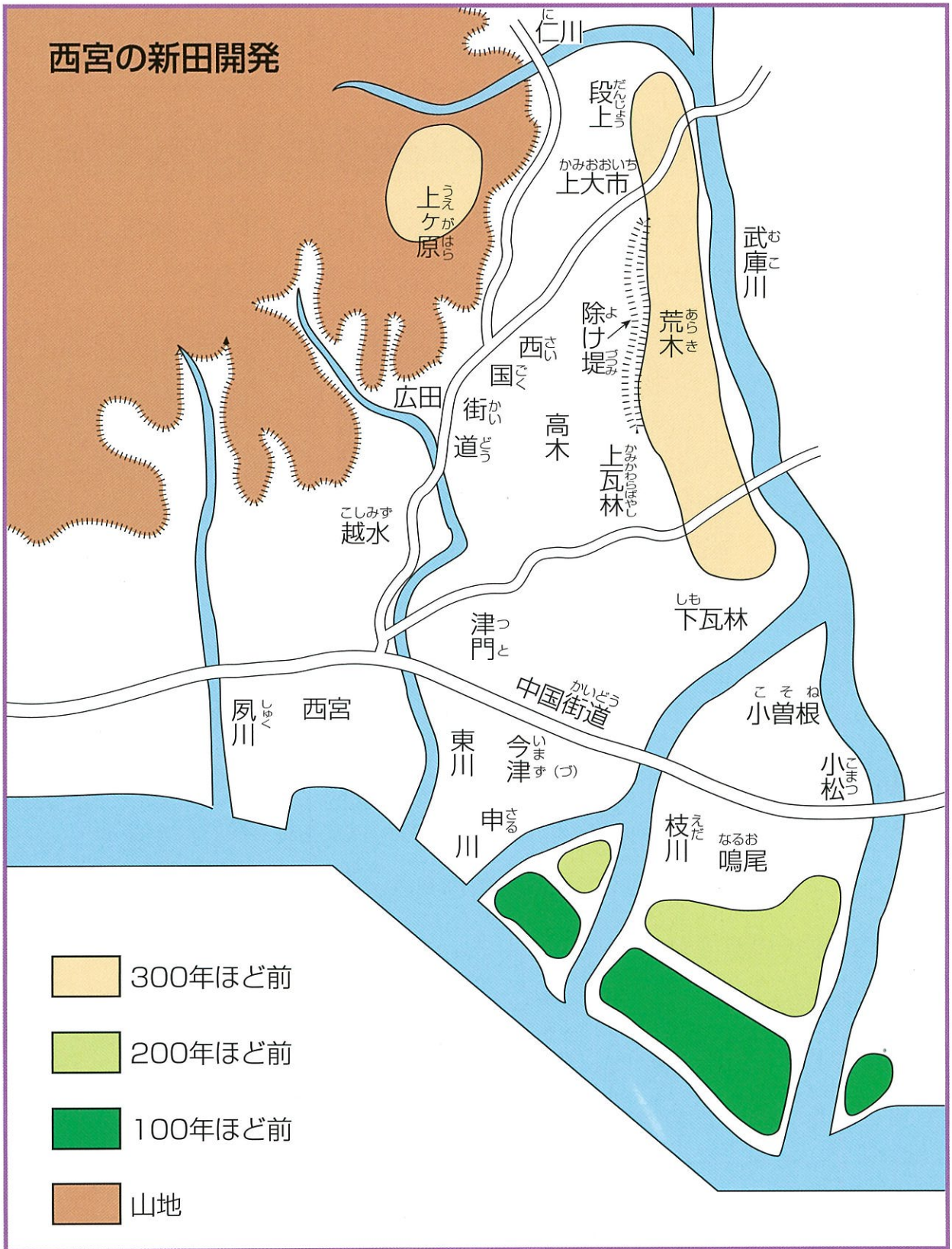


むかしはくろうしたんだなあ。



300年ほど前から、武庫川むこがわにそってたくさんの新田しんでんが開かれてきました。こう水のたびに水につかり、荒れるままになっている広い土地を見て、人々は何とかここを田畑にすることはできないものかと考えました。そこで、ていぼうをきずき、土地をたがやし、用水路ようすいろをひき、こえた土も入れて、何年もかかって水田すいでんにできました。

段上町だんじょうから瓦林町かわらばやしにかけての水田や、上ヶ原町の水田は、この時にできあがったものです。しかし、こうしてできあがった水田も、ていぼうが切れると、また、あれ地になってしまいます。そのたびに、もう一度、水田づくりをやり直さなければなりませんでした。



地図の中にある除け堤は、ずっとむかしの武庫川のていぼうのあとだと言われています。今は、そのすがたは見られません。

## 2. 武庫川と人びとの暮らし

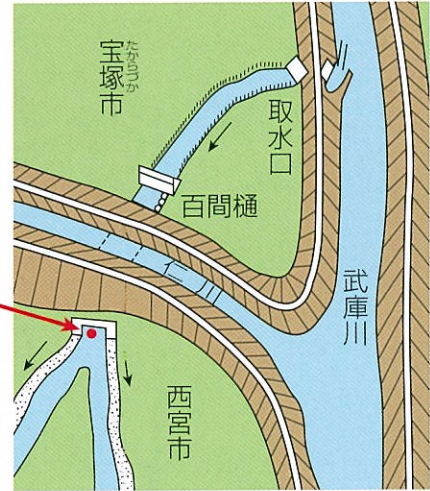
人々はどのように武庫川の水をりょうしてきたのでしょうか。

水田は、いねができるまでたくさんの水がひつようです。人びとは、用水路をほって武庫川の水を田に引き入れようと考えました。

川の底を下をくりぬいて水をとっているんだね。



① 百間樋 (地図●のところ)



② 百間樋のしくみ

### ひゃっけんび 百間樋用水

今から400年ほど前、<sup>だんじょう</sup>段上などの五つの村は、田に引く水が足りなくてこまっていました。そこで、<sup>にがわ</sup>仁川の川底を百間<sup>ひゃっけん</sup>(180m)もほりぬいて、武庫川の水を西宮に流しました。この用水路のことを百間樋といい、用水路から出た水は、津門や今津の方まで広い地いきの田畑で使われるようになりました。そのころは、きかいもなかったもので、すべて人の力でほったので、たいへんな工事でした。



こんな道具で工事したんだ。大変だね。

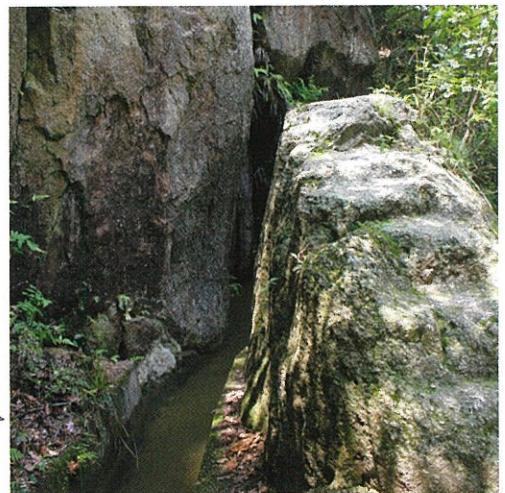


うえがはら  
**上ヶ原用水**

上ヶ原は、台地と呼ばれる地形で、土地が高くなっているのです、むかしから水の確保がむずかしいところでした。そこで、仁川の<sup>おおいだき</sup>大井滝から水を引くことになりました。村々の間にたくさんの争いがおきましたが、それらの争いを解決して、やっと水をひけるようになりました。しかし、岩をのみやかなづちだけでほりすすむので工事はとてもむずかしく、1年で3.7mしかほりすすめないほどでした。それでも1796年から34年間かけて、ようやく高さ約1m、はば約55cm、長さ約126mの水路を完成させました。



① 仁川上流から水を引き入れている



① 大きな岩を切りわって水を流す

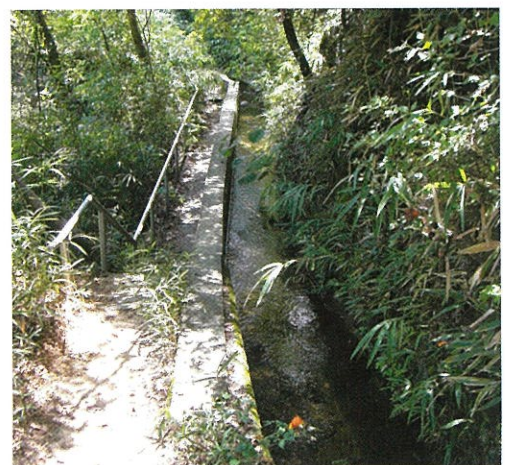
分けられている水の量がちがうね。



よく大きな岩をわったり、くりぬいたりできたね。



① 三つの村の田に水を分ける



① 山道をほって用水路を通す

人々はどのようにこう水をふせいできたのでしょうか。



① 台風で流された道路



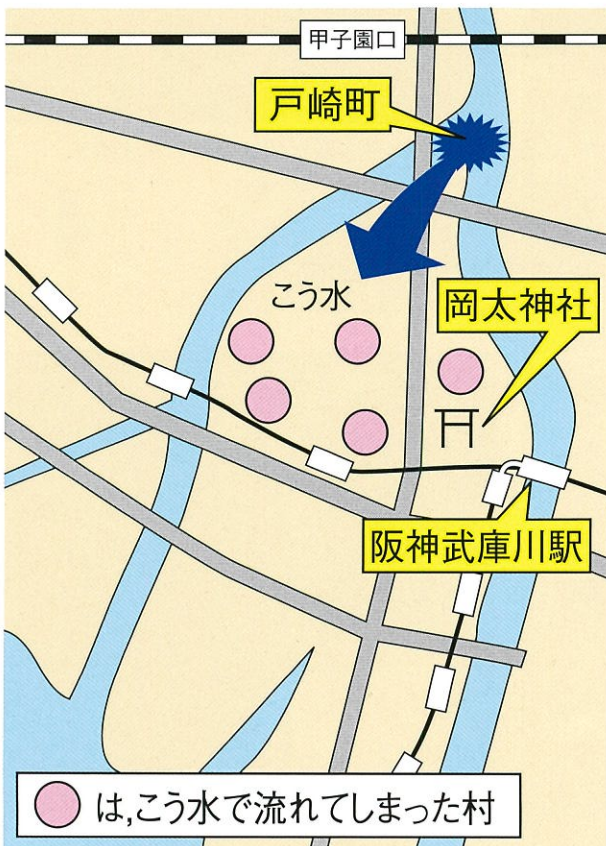
① 増水ぞうすいで流された橋はし



ぼくの知っている  
武庫川と大きく  
ちがってるなあ。



むかしから武庫川は、「あばれ  
川」ってよばれていたらしい  
けど、どんなひがいがあった  
のかな。



1659年、5月22日、武庫川と枝川えだがわの堤防ていぼうがくずれる「戸崎切れ」と呼ばれる大こう水がおきました。このときは、川からどろ水がたくさん流れ出し、お寺の本堂や家が流され、地図にある岡太おかだ神社の一部は、神戸まで流されてしまいました。

それ以後もこう水が occurred.

年	できごと
1740	2回のこう水で市内の大部分が水びたし
1896	かわらばやし <small>かわらばやし</small> 瓦林村でつつみが200m切れる。津門・今津まで水びたしとなる。9月も大雨で2週間水びたしとなる。
1897	枝川が切れ今津が水びたしとなる

今から100年ほど前、武庫川のこう水に苦しんできた人々は、なんとかしてこう水をふせごうとそうだし、県にもはたらきかけました。そこで、県は武庫川をしゅうりすることになりました。

- ① 水害の原いんになりやすい<sup>えだ</sup>枝川と<sup>さる</sup>申川をなくし、まっすぐな一本の流れにする。
- ② 高くて強いていぼうをつくる。
- ③ 川はばを広げる。
- ④ 川ぞこを深くする。

ていぼうが切れな  
いように、たくさ  
んのかふうをして  
いるんだね。



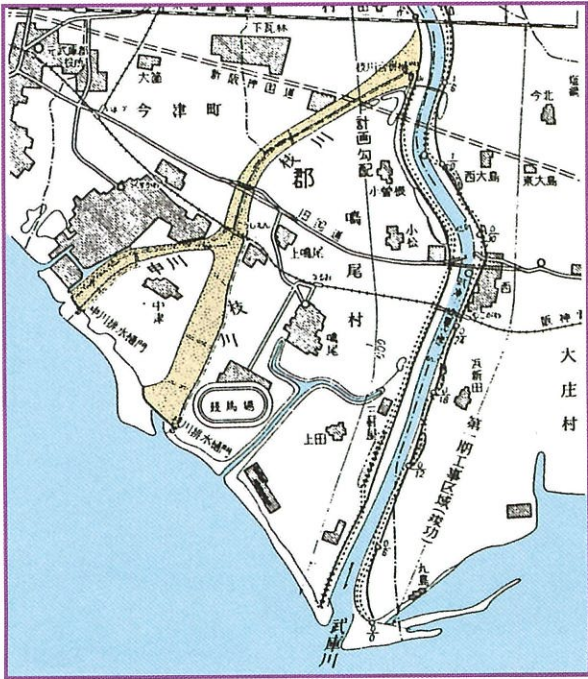
といった計画がたてられ、大正9年（1920年）から工事が始まりました。スコップでほったり、もっこで土を運んだりして、合わせて65万人がはたらき、3年もかかってできあがりしました。



① もっこをつかって土を運ぶようす



② 武庫川のていぼう



③ 武庫川をしゅうりするときの土地のようす

# わたしたちのまわりの川や水について調べてみましょう。

西宮にはたくさん川があるのね。  
みんなの学校の近くの川は見つかったかな？



- 2級河川 か せん
- 主な普通河川 ふ つう
- 市立小学校

大切な水だから、水をめぐって、  
村と村で争いが起こったり、多  
くの人々が大変な苦勞をしたん  
だね。



昔から、人々は、こう水とたたか  
いながら生きてきたんだね。そ  
して、その水をうまく利用してき  
たんだね。



「西宮の川を学ぶ」(NPO法人 かんきょう し えん ども環境活動支援協会 へん 編)  
より作成

## 西宮ふるさと民話

### むこがわ いながわ 武庫川と猪名川

大阪の南におられる住吉すみよしの大神おおかみは、西北にある山々りょうちを領地として持っておられました。

大神が、自分のすまいをつくるための材木をこの山々から切り出し、猪名川に流して運ぼうとしていたときのことで。

猪名川には女神めがみが住んでいて、「大神のおよめさんになりたい。」ずっと思っていました。ところが、武庫川にも女神が住んでいて、この女神も同じように、「大神のおよめさんになりたい。」と思っていたのです。

そこで、武庫川の女神は、「わたしは、大神のおよめさんになるんです。」と宣言せんげんをしました。これを聞いた猪名川の女神は、「およめさんになるのは、わたしです。」と言いかえし、争あらそいになりました。

猪名川の女神は、猪名川の川原にある大石をとっては投げ、武庫川の女神をおそいました。その上、武庫川の川原にはえていた茅草せりくさもひきむしってしまいました。

それで、今でも武庫川には大石がたくさんあって茅草がなく、猪名川には大石がなくて茅草がはえているのです。

神さまも人間と同じで、好きになったり、ケンカをしたりするそうです。

### 川や水にかんけいある民話

富倉川(ふくらがわ)のがたろう

六甲のてんぐ

白滝姫(しらたきひめ)の涙水

六石(ろっこく)の渡し

高座岩(こうざいわ)と白馬(はくば)

鳴尾(なるお)の義民(ぎみん)

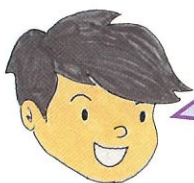
独鈷(とっこ)の水

ひげの渡し

山の井(ゆ)

石の宝殿(ほうでん)

生瀬橋(なまぜばし)



上ヶ原用水の「六甲山のてんぐ」や「山の井」の話には、人々の苦勞がよくあらわれているよ。

わたしたちの住んでいる近くの川や用水路などについて、どんな話が残っているか調べてみよう。



### 3. 甲子園の開発

甲子園のまわりは、どのように開発されていったのでしょうか。



① 1937年ごろの甲子園球場とそのまわり

こうじさんは、甲子園球場ができたころの写真を見ました。甲子園球場の場所は、川をうめたててできたところとお父さんから聞いておどろきました。

枝川と申川のあとが  
はっきりわかるね。



① 1921年ころの枝川

<sup>えだ</sup>枝川と<sup>さる</sup>申川のまわりには、まつ林やぞう木林がたくさんあり、きつねやたぬきが住んでいました。阪神電車は通っていましたが、甲子園駅はまだありませんでした。甲子園球場のたっているところも、草木がたくさんはえていました。ここから海岸までは林や野原がたくさんありました。

武庫川のしゅうりが終わったあと、枝川と申川はうめたてられ、<sup>せいち</sup>整地されていきました。枝川と申川の分かれているところに甲子園球場がつくられ、ここで中等野球（今の高校野球）が行われるようになりました。



① 阪神甲子園駅に現在も残るまつ林

甲子園の周りには、たくさんの運動しせつが集まっていたのね。今は、なくなっているものも多いけど、行ってみたかったな。



① 阪神甲子園駅と路面電車

そして、枝川のうめたてられたところには<sup>ろめん</sup>路面電車（※昭和50年（1975年）にはい止）が走るようになりました。

昭和5年（1930年）には、海岸から国道2号まで南北に走る電車の線路ができあがりました。



① 多くの人でにぎわった阪神パーク



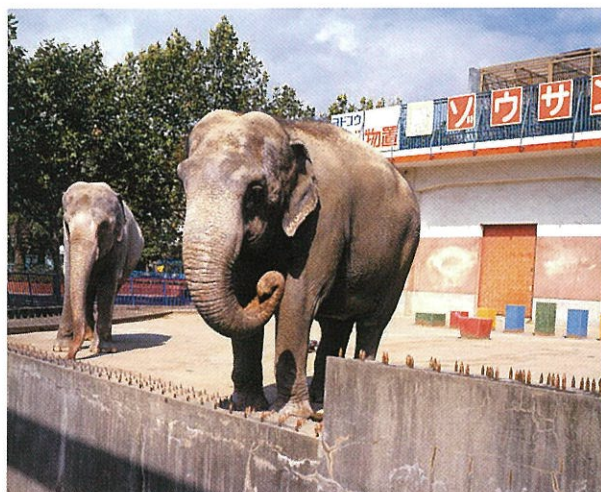
① 阪神パークデラックスプール

甲子園のまわりも大きく  
かわっていったんだね。



左の写真は、阪神パークです。  
 当時は、くじらが泳ぐ水族園もありました。また甲子園球場の南がわにはたくさんのテニスコートがつくられました。ラグビー・サッカー・アメリカンフットボール・陸上きょうぎができる大運動場がつくられ、甲子園浜は海水浴場になりました。

そして路面電車の走る道路にそって、家が次々とたてられ、上甲子園から浜甲子園・南甲子園など住たく地としても発てんしました。このころではめずらしい上水道もつくられました。



① 象のキクコとアキコ

しかし、戦争が始まり、テニスコートをはじめ、いろいろなしせつは飛行場などにかわりました。そして、空しゅうのためにこの辺りは焼野原となったのです。

戦後、住宅地が広がる中、プールや遊園地、動物園などのしせつが新しくなり、たくさんの人々がおとずれました。

平成15年(2003年)3月には、親しまれてきた阪神パークが閉園になり、あとちに大きな商業しせつができました。

### 甲子園球場とそのまわりの開発

年	開発のようす
大正12年(1923年)	● 武庫川のしゅうりが終わる。
大正13年(1924年)	● 甲子園球場ができる。
大正14年(1925年)	● 甲子園浜海水よく場ができる。 (昭和40年はいし)
大正15年(1926年)	● 阪神電車より南がわに路面電車が通る。 ● 甲子園球場の西にテニスコートができる。 ● 甲子園に常設の駅ができる。 ● 国道2号ができる。
昭和2年(1927年)	● 国道2号に路面電車が通る。
昭和3年(1928年)	● 甲子園駅より国道2号まで路面電車が通る。 ● 浜甲子園プールができる。
昭和4年(1929年)	● 甲子園南運動場ができる。
昭和5年(1930年)	● 路面電車が南に延長される。
昭和6年(1931年)	● 上水道ができる。 (今の鳴尾浄水場の北がわ)
昭和7年(1932年)	● 阪神パークができる。
昭和12年(1937年)	● 甲子園大プールができる。 ● テニスコートが100面ほどにふえる。
昭和18年(1943年)	● 戦争のため阪神パークを閉鎖する。 ● テニスコートは飛行機の試験場に。
昭和20年(1945年)	● 甲子園球場の内野はイモ畑に。
昭和25年(1950年)	● 阪神パーク営業再開する。
昭和34年(1959年)	● 世界初レオポン誕生。 (父親ヒョウ&母親ライオン)
平成7年(1995年)	● 阪神淡路大震災の影響で約半年間にわたり阪神パーク休園。
平成9年(1997年)	● 阪神パーク甲子園住宅遊園に改称する。
平成15年(2003年)	● 阪神パーク甲子園住宅遊園閉園。
平成16年(2004年)	● 阪神パーク跡地に大型商業施設がつくられる。
平成22年(2010年)	● 甲子園球場リニューアル工事完了。 ● 甲子園歴史館ができる。



① 浜甲子園に残る阪神電車甲子園線跡



② 阪神パークあとにできた商業施設